

<取組事例>

ア. 移動の速達性を高めるミッシングリンク解消プロジェクト

高速道路ネットワークの完成に向け、外環道（関越道～東名高速）の早期開通、圏央道の早期全線開通及び4車線化に向けた取組を推進するとともに、外環道（東名高速～湾岸道路）の早期事業化などに向けて、国や関係機関と取組を推進していく。

事業の実施に当たっては、事業連絡調整会議を活用するなど、関係者間で情報共有等を図りながら着実に整備を促進していく。

広域的な交流、連携を促す路線（第二東京湾岸道路等）について、計画具体化に向けて国などに働きかけを実施していく。



○ 首都高速都心環状線の大規模更新の機会を捉え、高速道路網の充実や機能強化を図るため、新たな都心環状ルートの形成や晴海線延伸部の早期事業化に向けて、国等と連携した取組を推進



イ. 誰もが使いやすくスムーズな道路網形成プロジェクト

区部・多摩地域の幹線道路ネットワークの完成に向けた道路整備等や連続立体交差事業による踏切の除却を推進することで、ストレスのない快適な道路交通を実現するとともに、都県境を越えた道路網形成により、東京圏の機能を一体的に発揮する。

まちづくりや都市の活性化等に寄与する道路や新たに検討する路線など、都市計画道路の整備に向けた取組を推進していく。

幹線道路の整備推進

■ 交通渋滞の解消や防災性の向上に寄与する幹線道路ネットワークの整備を推進

▼放射第5号線（久我山）



▼関戸橋（多摩市～府中市間）



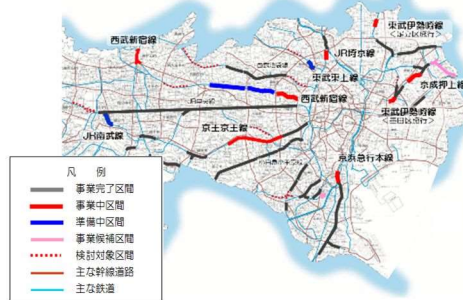
主要な骨格幹線道路の整備率

項目	2019年度末時点	2030年度
区部放射	72%	76%
区部環状	74%	83%
多摩南北	80%	92%
多摩東西	70%	79%

連続立体交差事業の整備推進

- ▶京王京王線、西武新宿線、京浜急行本線など5路線6か所で事業を推進
(区施行の東武伊勢崎線 1路線 2か所で事業中)
- ▶令和3年度事業化予定の東武東上線(大山駅付近)など3路線4か所で事業化の準備を推進するとともに、事業候補区間の2区間について、事業化の可能性の検討を実施
- ▶連続立体交差事業により創出された鉄道の高架下等の空間を観光発信施設や保育所等として活用

<連続立体交差事業 事業箇所図>

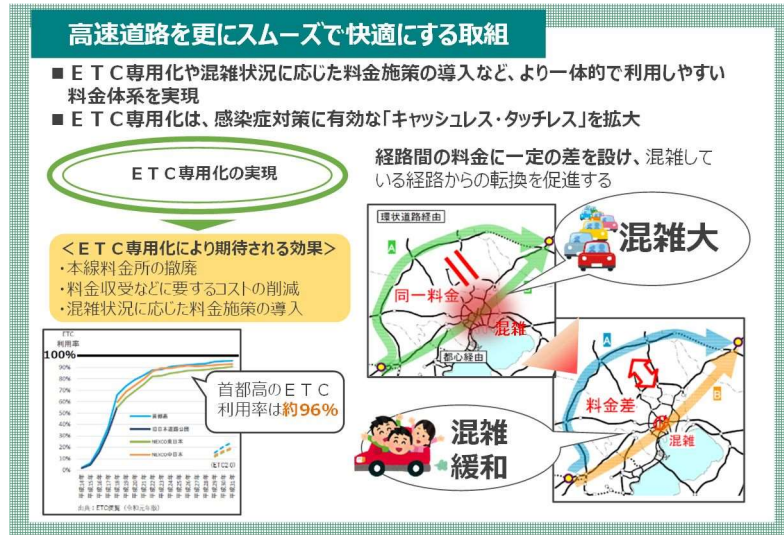


▼京成押上線（押上駅～八広駅間）明治通り



渋滞する交差点や同一路線を長時間利用することが見込まれる路線において、立体交差化を推進すべき箇所を選定するなどの検討を推進していく。

圏央道及びその内側における ETC 専用化とともに、混雑状況に応じた料金施策の導入や高速道路会社間の境目にする本線料金所の撤廃など、高速道路と更にスムーズで快適にする取組を推進していく。



ウ. 多摩の交通ネットワークの強化

多摩地域の道路ネットワーク拡充に向け整備を推進するとともに、空港の機能強化や物流拠点の整備等により、多摩地域の公共交通ネットワークの強化を図る。